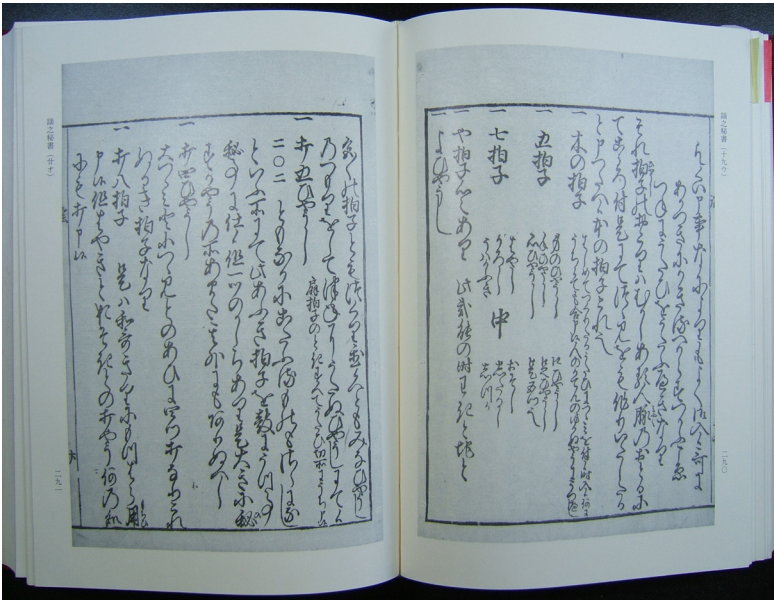


単行本の部

著者不明 『謡之秘書』

調子、節、発音、五音、さらに小段ごとの歌い方の技法にも言及。拍子については、本の拍子、五拍子、七拍子、や拍子、よひやうし、打五ひやうし、打四ひやうし、打八拍子、打一拍子、かけのひやうし、かけのほど、ほんのひやうしのほど、口のひやうし等の用語を挙げて解説。また、鼓の本の頭、大かへし等の星付(粒付)も示されている。



標題 内題…謡之秘書

標題紙…

奥附…

その他…

著者 奥附…

その他の場所…

出版 版次…

出版地…

出版社…松会市郎兵衛(開板)

出版年…

その他の場所…巻末 慶安5(1652)

形態 冊数… 頁数… 寸法…

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

(影印本)

備考 竹本幹夫編『能楽資料集 二』(平成六年、

早稲田大学出版部)二四九〜三一八頁に

影印。